## 「仁科 弘重 教授」

## 愛媛大学副学長 県内唯一の日本学術会議会員に





愛媛大学で副学長を務める仁科弘重教授=西古泉=。 平成29年10月、学術の立場から政策を提言する「日 本学術会議」の会員に任命されました。

同会議の会員は210人。政策の提言のほか、海外の 学術団体との連携や学術フォーラムの開催など、国内 外で幅広く活動を行っています。「210人の会員の中 で、四国では私を含め会員は4人です。地方からの選 出は少なく、ありがたいことだと思っています」と話 す仁科教授。専攻する農業環境の分野で6年間、会員 として活動します。

学術会議での活動だけでなく、仁科教授は大学でも 社会連携推進機構長として、新たに「松前町との連携」 を進めています。社会連携推進機構は、地域社会との 連携強化や推進を図っている組織です。県内の自治体 との連携を進めており、既に協定を結び連携を進めて いる市町もありますが、松前町はこれから協定を結び ます。「農産物のブランド化など、連携を図っていきた い」と話す仁科教授。産業以外でも、防災や医療福祉 分野など幅広い分野で連携を図っていこうと検討を進 めています。

身近な松前町から海外まで─。仁科教授は、これか らもさまざまな角度から自身の知識や経験を生かし て、地域や技術の発展のために尽力していきます。

か考えた一日でした。 重ねた「大人」になっていない **熟している人」。 年齢だけを** と、「思考や態度が十分に成

アイス サンタ

広告

に文字通りの寝正月です。 機会があったのですが、 そんな中、親戚一同が集まる に出掛けていたので、まさ までは年末年始のイベント お正月を迎えました。昨年 今年は、自宅でのんびり

どな」と感じるものでした。 のグループの話も「なるほ いたのですが、避難者の人 ければならないとき、それぞ る内容を聞いていると、ど 配置について話し合ってい フとも全然違って―。 でも を配置する場所は、5グルー 全5グループの様子を見て 正解がないものを決めな



避難所HUGの

)取材中







掲載場所 裏表紙の最下段

れの意見をぶつけないとよ

前の準備が大切だと実感し り良い案は出てきません。事

た取材となりました。(久保)

広告料 20,000 円/枠(1 カ月)

大きさ 縦 40 ミリ×横 60 ミリ カラー フルカラー

成人してから7年経ったこ

分がお年玉を渡す側に回り

とを再認識。

大人の意味を辞書で引く